

平成30年度が始まりました。昨年度に引き続き、日頃の「雑感」を綴ってまいります。
ご笑覧いただけましたら幸いです。

All for one, and one for all. No.35

H30. 6. 2 「音楽大行進」

多くの観客で賑わった「音楽大行進」も今年で86回目を数えます。旭川市民にはすっかりお馴染みのこのイベントに、今年は98団体が参加しました。11時半「リベライン旭川パークコミュニティランド」に出場団体が一堂に会し、盛大な開会式が行われました。



旭川市長と旭川地区吹奏楽連盟常任理事の指揮のもと合同演奏が行われた後、開会式を飾るオープニングに北海道警察音楽隊と本校吹奏楽局の2団体が選ばれました。

本校吹奏楽局は、今回が最後のお披露目となるミュージカル「ミスサイゴン」を演奏しました。演奏に加えての振り付けにも魅了されるほどの見事な出来映えでした。

「ミスサイゴン」をもう見ることはできないのはとても残念ですが、同時に次回に向けての新たな出しものへの大きな期待も膨らみます。進化し続ける吹奏楽局が益々楽しみになってきました。

その後、8丁目通りの行進を経て、1条通り会場でのアフターコンサートで幕を閉じました。今日一日数え切れない市民の皆様にご感動を与えてくれた「音楽大行進」、本校吹奏楽局もその一端を担うことができ本当に嬉しく思います。



吹奏楽局の皆さん、大変お疲れ様でした。そして素晴らしい演奏を有り難うございました。

All for one, and one for all. No.36

*エイリョウ・アラカルト 「高体連地区大会が熱い」

各部活動の高体連地区大会がようやく一段落つきました。今年も各地で熱戦が繰り広げられ、本校も昨年度同様、好成績を収めることができました。6月はいよいよ全道大会です。さらに研鑽を積み、地区の代表として日頃の練習の成果を精一杯発揮してきてくれることを願っています。現段階でわかっている「優勝」のみをお伝えします。

- 弓道部・・・男女ともに団体優勝、個人女子優勝
- テニス・・・団体女子優勝、個人女子ダブルス優勝
- バスケットボール・・・男子優勝
- 剣道・・・団体男子優勝、個人男子優勝
- 水泳・・・女子200m個人メドレー優勝
- 空手・・・団体女子組手優勝、団体女子形優勝、個人男子形優勝
- 放送（高体連以外）・・・ラジオドキュメント部門優勝



H30. 6. 5 「下宿生訪問」

様々な交通事情等から下宿をしている生徒の高校生活をサポートするため、教諭が直接下宿を訪問し、宿主さんや当該生徒と面談を行ってきます。規律ある生活や健康管理を主に、個々の相談にのりながら高校生活全般をサポートすることで生徒の不安を少しでも払拭したいと思います。



また宿主さんとの連携を深め、保護者も含めた情報交換を密にすることで、安心した高校生活が送れます。三年間あらゆる面からサポート、応援をしていきます。

H30. 6. 7 「全道壮行会」

4日から始まった「前期中間考査」も本日が最終日、生徒たちは昼夜を問わずの奮闘にようやく一段落といったところでしょうか。

この後は、高体連全道大会が各地で開催され、本校からも陸上、サッカー、バスケット、テニス、弓道、剣道、水泳、空手と総勢90名の選手が全道大会へと向かいます。また、放送局8名も文化系部活動一番乗りで全道に出場します。



参加数はここ数十年でダントツの数で、昨年度の58名と比べても飛躍的に増えました。生徒たちの日頃の鍛錬の成果です。

その選手たちを激励する「全道壮行会」を考査終了後に実施しました。各部代表の力強い決意表明や勇姿を見るにつけ、さすが永嶺生と頼もしく思えました。全道では管内の代表として他校の分まで頑張ってくれることを期待しています。

H30. 6. 7 「生徒主体の地域清掃」

年2回、生活委員を中心に通学路のゴミ拾いと南永山駅舎清掃を行っています。この日は40名以上の生徒が参加し、グループに分かれて1時間程度の活動を行いました。



地域の方々には、教育活動の運営にあたり多大なご協力とご支援をいただいています。生徒たちにはそうした暖かい思いに気づき、感謝の気持ちを持って欲しいと思っています。



南永山駅も多くの生徒が通学に利用しています。公共施設をきれいに大切に使うことは社会人としてのマナーです。地域清掃を通して、様々なことに気づいたり感じたりできる人間になってくれることが願いです。

現在、地域との関わりを大切にした生徒主体の活動を促進しています。是非地域の皆様のご意見もお寄せ願います。

H30. 6. 7 「学校評議員会」

第1回学校評議員会を開催しました。今年度は7名の方々に評議員をお願いし、様々な視点から学校運営へのお考えをお伺いします。「開かれた学校」を目指し、学校の方針や課題等への忌憚のないご意見やご要望を、今後の教育活動に反映していきたいと思っています。

今回は、保護者側の視点からの学校事情や単位制ゆえの評価方法の重要性、特色ある教育活動の広報策など、改めて考えなければならない貴重なご意見やヒントを数多くいただきました。学校にはまだまだやるべきこと、考えなければならないことが沢山あります。一つ一つの教育活動の意味を再確認するきっかけにさせていただきたいと思っています。



学校評議員の皆様には、未来を創造する子どもの成長へのお力添えをよろしくお願いいたします。

*エイリョウ・アラカルト 「教育実習」

11日(月)から教育実習が始まり、6名の有望な学生の皆さんがやってきました。前身となる旧凌雲高校を卒業され、現在大学3、4年生ということです。実習期間は在籍する大学によって異なり、2～4週間の中で教師としての経験を積まれることになります。



初日早々にお話をする機会があり、机を囲んで「教育」について皆さんの考えを聞かせていただきました。大学生だけあって考え方も受け答えもしっかりしており、特にその実直さと爽やかさに好印象を抱きました。

教師の仕事は「表面的に見えるものだけではありません。」また「画一的なものでもありません。」さらには「すぐに効果が顕れるものでもありません。」

様々な体験の中で数多くのことを直に感じてもらえる実習になって欲しいと思います。生徒たちと接する中で、「教師という仕事の奥深さとやりがい」に気づいてくれると嬉しいです。

皆さんにとって貴重な経験になることを願っています！



*エイリョウ・アラカルト 「未来を担う若者」

過日の夕方、本校1期生となる卒業生二人が校長室を訪ねてきました。札幌の大学に通う2年生で、現在学んでいることや将来の夢などについて近況報告してくれました。



少子高齢化や高度情報化が進む社会にあって、「グローバルな視野を持つ有為な人材になりたい！」という彼らの意思にはとても感銘します。この世代の皆さんがこれからの日本社会を創造していくのだと、改めて頼もしくも思います。

彼らは次世代のグローバルリーダーを目指し、師事する教授のもと「世界標準のコーチング」を体験するため、クラウドファンディング（Readyfor）を活用しながら渡米の準備を進めています。

現在『「次世代グローバルリーダー研修ツアー」北海道の若者を世界へ』と銘打ったこの企画への支持者を募っているとのことでした。

本校の卒業生と言うこともあり、彼らには未来の社会に貢献してくれる逞しい人材であり続けてくれることを願っています。

All for one, and one for all. No.43

H30. 6. 14 「1年次科目選択説明会」

単位制高校の特色は「選択科目」を沢山有することです。多様な生徒の進路希望を実現するために、一人一人の進路に必要な学習内容を教育課程に盛り込んでいます。

1年次では全員がほぼ共通の学習内容を履修しますが、2年次からは個々の進路に合わせた科目を自らの意志で選択し、必要な力を確実に身につけていきます。

しかし一言で「進路希望」と言いましても、その幅は無限大です。突然決めるとなれば、生徒自身にも保護者にも迷いが生じます。そこで、本校が重視しているのは「ガイダンス」の充実です。

「生徒向け」及び「保護者向け」ガイダンスを定期的に行うことによって、お子様の将来への道筋を一緒に考えていただくことを目的としています。年次や時期に合わせた説明内容を用意していますので、早期から選択の準備を始めることができます。

今回のガイダンスにも200名近い保護者の方がお越しくださいました。お子様の大切な将来を決める内容ですので、今後も多数の皆様のご参加をお願いいたします。



All for one, and one for all. No.44

*エイリョウ・アラカルト 「馬術」

3年次の女子生徒が「春季馬術大会」に参加します。日本では武芸から派生したようですが、今やオリンピック競技にもある「スポーツ」として親しまれている方が多いよう



です。もちろん儀式的に保存されている「古式馬術」とは区別されますが、馬と気持ちを通い合わせ操るという点においては共通するところも多いでしょう。

以前、平取を訪問した時に「義経神社」なる社があり、「馬」にまつわる縁起物が飾られていました。義経が馬乗りの名手との伝説からでしょうか。古来から人と馬には強い結びつきがあるように思います。ところで、馬の目ってすごく優しいですね・・・！

H30. 6.18～ 「授業研究強化週間」



同じ職場では、他の先生の授業を見に行くことには意外と気を遣うものです。外部からの授業見学希望にはいつでも対応しますが、校内ではあえて授業研究の強化週間を年数回設け、気軽に互いの授業参観を可能にすることで効果的な授業改善を図っています。

また、アクティブラーニング推進委員会でも各教科代表者による研究授業を設定し、多くの教諭が参観しやすいよう時間割を配しました。週末には、全体でのアクティブラーニングの効果的活用についての意見交換の場も予定しています。

授業には「見たり見られたり」することによって気づくことが数多くあります。互いの授業から良い刺激を受け合うことは、学校全体のクオリティーを上げることにつながります。今後もこうした取組を積極的に進めてまいります。



*エイリョウ・アラカルト 「全国大会」

ビッグニュースが飛び込んできました。放送局が「ラジオドキュメント」部門で、参加39校中堂々の3位で「全国大会」への出場権を得ました。苦労しながら集めた多くの取材内容と作品中のひまわりという楽曲の融合が「メッセージ性の高い作品」を生み出していると、審査員からも高い評価をいただきました。



現在放送局は2年次生2名、1年次生6名の総勢8名で活動しています。2年次生の 酒井 秋華さんと 中井 実優さんが柱石となり局員を明るくまとめています。

また、今回のラジオドキュメント部門で監督を務めた1年次生 葛西 彩瑛さんは「構成と雰囲気作りも大変でしたが、何より音楽を繋ぐ編集に苦労しました。」と語ってくれました。

局員皆がフル稼働で協力し創り上げたこの経験はとても貴重なものだと思います。話を聞いていてとても清々しい気持ちにさせられる素敵な面々でした。まだまだ若いチームだけに、これからの活躍がとても楽しみです！

全国大会は7月23日から東京都で開かれます。沢山の経験を積み、人間的にもまた一回り大きくなって戻ってきてくれることを確信しています。

H30. 6.19 「東川養護学校と交流」

東川養護学校の皆さんとは毎年交互に学校を訪問し合い、様々な活動を通して互いの信頼関係を深め合っています。今年度は東川養護学校の教職員、生徒の皆さん11名が本校

を訪問してくださいました。

両校の代表生徒が挨拶を述べた後、校庭で一緒にマリーゴールドやサルビアの花植え作業を行いました。その後、校内に戻り生徒会の活動報告や互いに考えてきたゲームを楽しみながら交流を深めました。

互いに心から打ち解け合いとても楽しい時間を過ごすことができました。同年代の子どもたちが心をついに互いを尊重し合い、絆を深め合う姿は本当に素敵です。

次年度は本校がお邪魔しますので、よろしくお願いします。



All for one, and one for all. No.48

*エイリョウ・アラカルト「マドレーヌ」

過日少し遅くまで仕事をしていると、LCC（ライフ・クリエイト・クラブ）の皆さんが「焼きたてのマドレーヌ」を校長室に届けてくれました。一つ一つ丁寧に焼き上げたお菓子からはほんのりと甘い香りが漂い、疲れも一気に癒やされます。



マドレーヌはフランス発祥とのことですが、日本でも年齢に関係なく人気のお菓子となっています。バター、小麦粉、卵、砂糖、ベーキングパウダー、アーモンド、香料等々、作り手によって様々な形や味わいが楽しめます。

ご馳走になったマドレーヌは焼きたてで、バランスの良い味わいと気品ある色合いがとても見事でした。

All for one, and one for all. No.49

H30. 6. 22 「保健講座」

本校では発達段階に合わせて、年次ごとに「保健講座」を実施しています。今回は3年次生を対象に「困難や状況に対して求められる力」と題して、北翔大学教育文化学部心理カウンセリング学科准教授の 飯田 昭人氏を講師にお招きしご講演をいただきました。

「レジリエンス」や「ストレスマネジメント」など、心理学の視点から高校生の心情を紐解いていきます。パワーポイントを併用したお話は大変丁寧でわかりやすいものでした。生徒は、「メンタルヘルスの問題からの立ち直り、セルフマネジメント、心の病気」などについて理解をより深めたようです。

その後グループワークを行い、自己の振り返りや自他の思いの共有などを図ることで、悩み解消法や自己課題解決対処法等について学びました。

最後に保健委員代表の3年次生 須藤 大智君が、「お話を聴き、困難な状況を乗り越える手立てを学びました。」と謝辞を述べました。

